

南京陥落75周年
〈南京戦はあったが「南京虐殺」はなかった〉

「南京事件」の 真相に迫る国民集会

周辺国の激しい「領土侵略」にさらされている日本
その背景には、近代日本を犯罪国家とねじ曲げる「歴史侵略」がある
南京陥落75周年にあたり「南京事件」の真相に迫る大集会を開催します

特別出演

河村たかし

名古屋市長

(急遽の公務のため欠席の場合もございます。)



基調講演

渡部昇一

上智大学名誉教授 南京の真実国民運動代表

「あるはずのない南京虐殺」



■報告 茂木弘道 「南京虐殺は国民党の戦時謀略宣伝である」
「史実を世界に発信する会」事務局長

藤岡信勝 「『歴史侵略』を受け入れる日本の教科書」
拓殖大学客員教授 「つくる会」教科書企画編集委員長

■総括講演 加瀬英明 「汚辱の歴史を払拭するためにどうするか」
外交評論家
*終戦時の南京市を体験した方も登壇予定。当時の様子をお話いただきます。

*〈南京事件を視覚的に検証するパネル展〉本邦初公開!

■日時 平成24年12月13日(木) 午後6時~8時(午後5時半開場)
■場所 憲政記念館大講堂

東京都千代田区永田町1-1-1 (03-3581-1651)
地下鉄 半蔵門線・有楽町線・南北線 永田町駅2番出口より徒歩5分

■参加費 1000円(資料代)



主催 南京の真実国民運動(代表・渡部昇一)

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3-203 新しい歴史教科書をつくる会 気付
TEL:03-6912-0047 FAX:03-6912-0048

●この集会の成功のためにご寄付をお願いします
〈郵便振替〉記号番号00190-9-596227 南京の真実国民運動